

復旧・復興の3原則

- I 被災された方々の痛みを最小化する
- II 単に元あった姿に戻すだけでなく、創造的な復興を目指す
- III 復旧・復興を熊本の更なる発展につなげる

有識者会議

- I 住民に寄り添った協働による復興
- II 創造的復興
- III 次代に継承する復興
- IV 次の災害に備える復興
- V 国・国民合意による復興

基本理念

県民の総力を結集し、
将来世代にわたる県民総幸福量を最大化する

熊本の将来像

災害に強く
誇れる資産を
次代につなぎ
夢にあふれる
新たな熊本

○将来が夢にあふれ、希望に満ちた熊本 (Hope)

○災害に強く、安全安心に生活できる熊本 (Safety)

○熊本の宝が継承され、誇りに満ちた熊本 (Pride)

○経済的に安定し、躍動する熊本 (Economy)



痛みの最小化を目指した早急な対応(主に平成28年度の取組み)

くらし・生活の再建 ～被災者に寄り添い、すまい、医療・福祉、教育など県民生活を再建～

- ◆ 避難所の運営支援(要配慮者支援等)
- ◆ 仮設住宅の提供(「みんなの家」整備、利便施設設置、交通手段確保を含む)
- ◆ 宅地の復旧、耐震化支援
- ◆ 経済的困窮者や子供の支援
- ◆ 震災離職者等の就労支援
- ◆ 損壊家屋等の公費解体及び災害廃棄物処理
- ◆ 学校施設復旧・再開、心のケアと学力確保
- ◆ 医療・福祉施設復旧、被災者の健康・心のケア
- ◆ 出産・子育て環境の回復
- ◆ 南阿蘇村立野地区における寄添い支援
- ◆ 東海大学農学部阿蘇キャンパスの再開支援

社会基盤の復旧 ～道路・鉄道、阿蘇・熊本城、防災拠点など「くまもと」の基盤を再生～

- ◆ 被災道路の応急復旧及び本格復旧着手
- ◆ 国道57号・阿蘇大橋復旧方針決定、俵山ルート年内仮復旧
- ◆ 南阿蘇鉄道、JR豊肥本線の復旧推進
- ◆ 市町村庁舎など防災拠点の復旧支援
- ◆ 「熊本都市圏東部地域グランドデザイン(大空港構想NextStage)」の策定
- ◆ 広域防災拠点の機能強化
- ◆ 国民参加による熊本城復旧の推進
- ◆ 阿蘇の草原など自然・景観の再生推進

地域産業の再生 ～風評被害対策の実施、観光産業、農林水産業、商工業などを再生～

- ◆ 風評被害対策、観光産業の再生
- ◆ 農地・農業用施設の復旧、営農支援
- ◆ 応援気運を捉えた農林水産物の販路拡大
- ◆ グループ補助金等による地域産業の再生
- ◆ サプライチェーンの回復、企業BCP支援

交流機能の回復 ～阿蘇くまもと空港、熊本港、八代港などの復旧と機能を強化～

- ◆ 「熊本都市圏東部地域グランドデザイン(大空港構想NextStage)」の策定
- ◆ 熊本港、八代港の機能強化と利用促進
- ◆ 国際人材の育成、活動支援

新たな熊本の創造に向けた概ね4年間の取組み等(※別紙)

安心して希望に満ちた暮らしの創造

～安心・希望を叶える～

- ① 家族や地域の強い絆が息づく地域づくり
- ② 安全安心で暮らし学べる生活環境づくり
- ③ あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築

未来へつなぐ資産の創造

～未来の礎を築く～

- ④ 災害に負けない基盤づくり
- ⑤ 地域の特性を活かした拠点・まち・観光地域づくり
- ⑥ くまもとの誇りの回復と宝の継承

次代を担う力強い地域産業の創造

～地域の活力と雇用を再生する～

- ⑦ 競争力ある農林水産業の実現
- ⑧ 県経済を支える企業の再生・発展
- ⑨ 自然共生型産業(アグリ・バイオ・ヘルスケア等)を核としたオープンイノベーション機能の確立
- ⑩ 地域資源を活かす観光産業の革新・成長
- ⑪ 地域を支え次代を担う人材確保・育成

世界とつながる新たな熊本の創造

～世界に挑み、世界を拓く～

- ⑫ 空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化
- ⑬ 世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

今後の「震災復興モデル」となるために

■ 国や市町村など多様な主体との連携・協力

- 国との連携 ...国直轄事業の実施を含め、技術・人材・財源等で国と県が緊密に連携
- 市町村との連携 ...被災市町村の復興計画の策定や着実な推進を支援、地域の振興計画とも連携
- 県内外の多様な主体との連携 ...県民、地域組織、ボランティア団体、産業界、教育機関、金融機関等の総力を結集

■ 復興財源等の確保

- 復旧・復興事業への人材と財源の重点化、及び国に対する財政支援要望

■ プランの進行管理

- 平成28年熊本地震復旧・復興本部を中心としてPDCAサイクルによる進行管理

■ 災害対応の検証を踏まえたプランの見直し

- 検証結果をプラン改訂に反映
- 「創造的復興」のモデルとして全国に発信するとともに、災害対応の教訓等を後世に伝承

新たな熊本の創造に向けた概ね4年間の取組み等

(1) 安心で希望に満ちた暮らしの創造

～安心・希望を叶える～

施策1 家族や地域の強い絆が息づく地域づくり

- ◆「すまい」再建・災害公営住宅建設・住宅耐震化・宅地復旧の推進
- ◆「みんなの家」整備などコミュニティ形成支援
- ◆「地域支え合いセンター」設置・運営支援
- ◆南阿蘇村立野地区寄添支援、東海大学阿蘇キャンパス再開支援
- ◆買い物弱者や三世同居の支援など集落生活圏形成の推進

施策2 安全安心で暮らし学べる生活環境づくり

- ◆被災者や生活困窮者の生活再建支援
- ◆学校の耐震化、防災拠点・避難所としての機能整備
- ◆民間団体等と連携した子供の居場所づくり等の支援

施策3 あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築

- ◆医療・社会福祉施設の耐震化など防災対策促進
- ◆「くまもと暮らし安心システム」（地域包括ケア等）の構築

(2) 未来へつなぐ資産の創造

～未来の礎を築く～

施策4 災害に負けない基盤づくり

- ◆幹線道路ネットワークの整備などリダンダンシーの確保
- ◆道路、河川等の社会資本等の強靱化
- ◆防災拠点となる庁舎等の耐震化・機能充実
- ◆震災ミュージアム等のあり方検討

施策5 地域の特性を活かした拠点・まち・観光地域づくり

- ◆熊本都市圏東部地域等の復興のまちづくり
- ◆「九州を支える広域防災拠点構想」に基づく拠点施設機能強化
- ◆地域資源の発掘・磨き上げ等による観光地域づくり

施策6 くまもとの誇りの回復と宝の継承

- ◆熊本城や阿蘇神社など文化財の修復
- ◆阿蘇の草原再生、地下水と土を育む取組みの推進

(3) 次代を担う力強い地域産業の創造

～地域の活力と雇用を再生する～

施策7 競争力ある農林水産業の実現

- ◆農地の大区画化、農地集積、「熊本広域農場構想」の展開
- ◆熊本型農業者育成の仕組み構築、収益性の高い次世代型農業の展開
- ◆森林経営強化、流通体制整備、CLT等の新技術活用による需要拡大
- ◆漁場の環境改善、ノリ養殖等の協業化推進、新たな養殖技術の確立
- ◆選果場等の再編整備、農林水産物のPR、学校給食等での地産地消

施策8 県経済を支える企業の再生・発展

- ◆ICT・IoT・AI活用によるサービス産業をはじめとした企業の生産性向上
- ◆リーディング企業の創出及び株式上場の支援
- ◆半導体・自動車関連や医療・食品関連等の成長分野を対象にした企業誘致
- ◆事業継続計画（BCP）策定による災害に強い体制構築の促進

施策9 自然共生型産業を核としたオープンイノベーション機能の確立

- ◆自然共生型産業（アグリ・バイオ・ヘルスケア等）など新事業創出支援
- ◆クラウドファンディングを活用した「ふるさと投資」による企業支援

施策10 地域資源を活かす観光産業の革新・成長

- ◆熊本城の復元過程を活用したツアー等による新たな誘客の促進
- ◆「くまもと版DMO」による滞在型観光の更なる推進
- ◆ホテル・旅館等の復旧と高付加価値化の取組みの支援

施策11 地域を支え次代を担う人材確保・育成

- ◆UIJターン就職支援センターによる人材確保
- ◆ブライツ企業の認定による若者の県内企業への就職促進
- ◆医療・福祉、建設・交通分野など地域を支える人材の確保・育成

(4) 世界とつながる新たな熊本の創造

～世界に挑み、世界を拓く～

施策12 空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化

- ◆「大空港構想 Next Stage」に基づく空港の機能強化等の推進
- ◆年間70隻以上のクルーズ船寄港実現と県内各地への効果波及
- ◆耐震強化岸壁の整備など熊本港・八代港の海外展開拠点化の推進

施策13 世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

- ◆くまモンを活用した「KUMAMOTOブランド」の世界展開
- ◆女子ハンドボール世界選手権大会やラグビーワールドカップの開催
- ◆“英語教育日本一”、留学・進学支援によるグローバル人材育成